

令和6年度 林業普及週間現地情報 (2/2～2/8)

森林管理課

イヌマキの間伐について

令和7年2月6日(木)

令和7年2月6日、首里城公園友の会が国頭村字辺野喜地内の県営林内で保育・管理を行っているイヌマキ林において、県北部農林水産振興センターの普及指導員等で間伐作業を行った。

首里城公園友の会は、平成の首里城復元時に、先の大戦等により荒廃した本県の森林から木材を供給できなかったことを機に、将来の首里城修復のために修復材となるイヌマキを植樹・育樹していくことを目的に平成4年5月に設立した団体である。

今回の間伐作業では、事前に首里城公園友の会に確認を得た、首里城の柱材として有望な通直性のあるイヌマキを育成木として、その生育に影響を及ぼす周辺に生育するイヌマキを伐採した。

これにより育成木の光環境が改善されたほか、イヌマキに大発生するキオビエダシャクという害虫の防除作業も行いやすくなったことから、今後の育成木の成長促進に期待している。

なお、3月計画されている首里城公園友の会の育樹祭で間伐作業の報告を行う予定であり、参加者に間伐の必要性を普及できればと期待している。



(報告者：北部農林水産振興センター 仲里、佐野、西岡、國吉)